

家庭状況調書 記入要領

家庭状況調書は、同居・別居を問わず生計を一にする方全員について記入する。
ただし、同居の家族は全て同一生計とみなします。
(同居の祖父母等も含まれます。)

- ・就学者以外の生計を一にする家族を記入する。
- ・主たる家計支持者の続柄を記入する。
- ・別居者がいる場合、続柄に×印をつける。
- ・父又は母が死亡・生別の場合は、氏名欄を()とし、その年月等を「特別控除関係」欄に記入する。
- ・独立生計者の配偶者は、「父」の欄を「妻(夫)」と訂正のうえ記入する。
- ・無職の場合、職業欄は空欄にせず「無職」と記入する。
(アルバイト収入のある方は無職とはしません。)

「収入状況」欄は、平成27年分(1月～12月)の所得を記入する。
ただし、平成27年1月以降に転職・就職・開業した場合は、年間の所得見込額を(様式4又は7)により記入する。
・年金は、最新の年額を(様式6)により記入する。
(支払通知書による1回の支払額×年間支払回数＝最新の年額)

28

A4サイズ用紙に横向きで印刷してください。

太枠欄は、大学認定のため記入しないこと。

学生番号 01427999

前半期分
授業料免除
(4月現在)

| 家庭状況調書 | | | | 給与所得の計 (税込) (千円) | 給与所得以外の 所得(税込)(千円) |
|--------------|-------|---------------|----|---------------------|-----------------------|
| 氏名(フルネーム) | 年齢 | 現在の職業 開始年月 | | | |
| 本人 | 岡大 春男 | 20 | | | |
| 就学者(右欄を除く家族) | 父 | 岡大 夏男 | 52 | 食料品小売業・農 H2年4月～ | |
| | 母 | (岡大 松子) | | | 40 |
| | 姉 | 岡大 竹子 | 25 | 会社員 H19年4月～ | 50 |
| | 祖父 | 岡大 秋男 | 76 | 無職(年金受給) | 60 |
| | 祖母 | 岡大 梅子 | 73 | 無職 | 70 |
| | | | | | 80 |
| | | | | | 90 |

主たる
家計支持者
父

同居の家族は同一生計とします。同居の祖父母等も含まれます。

別居者に×

年齢・職業・その職業の開始年月も記入する。

記入しない。

| 区分 | 続柄 | 本人 | 父 | 母 | 姉 | 祖父 | 祖母 | 備考 |
|------------------------------|-------------------|------|-------|------|-------|------|------|----|
| | | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | |
| 給与所得(注1) | 給料・賃金 | | | | 2,735 | | | |
| | 役員報酬 | | | | | | | |
| | 専従者給与 | | | | | | | |
| | 年金・恩給 | | | | | 520 | なし | |
| | 失業給付金 | | | | | | | |
| | 児童(扶養)手当 アルバイト | | | | | | | |
| 計 | | | | | 2,735 | 520 | | |
| 給与所得以外の所得(注2) | 商・工業 | | 2,710 | | | | | |
| | 農・林・漁業 | | 412 | | | | | |
| | 家賃・地代 | | | | | | | |
| | 利子配当 | | | | | | | |
| | その他の雑所得 | | | | | | | |
| | 親戚等の援助 アルバイト | | 380 | | | | | |
| 退職金 保険金 資産譲渡所得 山林所得 | | | | | | | | |
| 計 | | 380 | 3,122 | | | | | |

アルバイトで給与扱い(源泉徴収票があるものなど)は、この欄に記入する。

60歳以上で年金・恩給が無い場合は、必ず「なし」と記入する

その他の職業は、この欄に記入する。

アルバイトで給与扱いでないものは、この欄に記入する。

申請前6か月間の臨時所得を記入する。

注1 給与所得は、前年1年間の収入金額(源泉徴収票の支払金額等)を記入すること。(千円未満切捨て)
注2 給与所得以外の所得は、前年1年間の収入金額から必要経費を控除した額を記入すること。ただし、臨時所得は、申請前6か月間の収入金額を記入すること。(千円未満切捨て)

●平成27年分 給与所得の源泉徴収票(一部分)

| | | | | | |
|----------------|--------------|------------|-----------|-----------|---------|
| 支払を受ける者 | 住所又は居所 | 津山市駅前町〇〇-〇 | 氏名 | 岡 竹子 | |
| 種別 | 支払金額 | 給与 | 2,735,000 | 源泉徴収額 | 243,500 |
| 控除対象配偶者の有無 | 配偶者特別控除の額 | 特定 | 0 | 老人 | 0 |
| 扶養親族の数(配偶者を除く) | 障害者の数(本人を除く) | 社会保険料等の金額 | 275,000 | 生命保険料の控除額 | 50,000 |
| 配偶者の合計所得 | 個人年金保険料の金額 | 長期損害保険料の金額 | 0円 | | 0円 |

この欄の金額を「給与所得」欄に記入する。

●平成27年分の所得税の確定申告書(第一表の一部)

| | | | |
|------|-----|---|---------|
| 事業 | 営業等 | ① | 2710000 |
| | 農業 | ② | 412000 |
| 所得金額 | 不動産 | ③ | |
| | 利子 | ④ | |
| | 配当 | ⑤ | |
| | 給与 | ⑥ | |
| 雑 | ⑦ | | |
| 合計 | ⑨ | | 3122000 |

この欄の金額を「給与所得以外の所得」欄に記入する。

家庭状況調査書 記入要領

(様式 1-②)

| | | | | | | | |
|----------------------------|--------------------|--|--|------------------------------|---|-----------------------------------|----------|
| 本人 | 通学区分 | ※115 1:自宅 2:自宅外 3:親戚宅他 | | | 前年度奨学金 受給額(千円) | | |
| | 奨学金 受給状況 | 28年度 日本学生支援機構奨学金※116 1:一種 2:二種 3:併用 月額(81)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称() 月額()千円×()月 | 27年度 日本学生支援機構奨学金※ 1:一種 2:二種 3:併用 月額(51)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称(〇〇〇奨学金) 月額(30)千円×(12)月 | 117 大学認定欄 | | | |
| 就学者 (高校生以上は在学証明書を提出のこと) | 続柄 | 氏名(年齢) (前半期分申請:) | | 設置区分 | 学校種別 | 通学区分 | |
| | 兄 | 岡大 冬男 (22才) | | ※121 1:国立 2:公立 3:私立 | ※122 4:大学 1:小学校 5:高等専門学校 2:中学校 6:専修学校高等 3:高校 7:専修学校専門 | ※123 1:自宅 2:自宅外 | |
| | 妹 | 岡大 花子 (18才) | | ※129 1:国立 2:公立 3:私立 | ※130 4:大学 1:小学校 5:高等専門学校 2:中学校 6:専修学校高等 3:高校 7:専修学校専門 | ※131 1:自宅 2:自宅外 | |
| | | () () | | ※137 1:国立 2:公立 3:私立 | ※138 4:大学 1:小学校 5:高等専門学校 2:中学校 6:専修学校高等 3:高校 7:専修学校専門 | ※139 1:自宅 2:自宅外 | |
| | | () () | | ※145 1:国立 2:公立 3:私立 | ※146 4:大学 1:小学校 5:高等専門学校 2:中学校 6:専修学校高等 3:高校 7:専修学校専門 | ※147 1:自宅 2:自宅外 | |
| 特別 控除 関係 | 母子・父子 世帯 | 状況 | 左欄の状況となった時期 | | 201 | 0:非該当 1:該当 | |
| | 障がい者 のいる世帯 | 続柄 | 障害者手帳等の番号 | 障害年金の有無 | 202 | 該当者 <input type="checkbox"/> 人 | |
| | 長期療養者 のいる世帯 | 続柄 | 療養期間 | 療養種別 | 療養費年額(円) | 203 | 年額合計(千円) |
| | 主たる家計支持 者が別居の世帯 | 続柄 | 別居先の住所及び開始時期 | | 特別に支出した金額(円) | 208 | |
| | 火災・風水害等の 被災世帯 | 被災年月日 | 被災内容 | 被害額(円) | | 213 | |
| 大学 認定 | 家族数 | 独立生計 | 生活保護世帯 | 学力 | 申請区分 | 辞退 | |
| | 218 | 221 0:無 1:該当 | 222 0:無 1:該当 | 223 0:不適格 1:適格 | 224 1:一般 2:家計 3:学力 4:留年超過等 5:家計支持者死亡 6:被災 | 227 <input type="checkbox"/> | |

自宅通学者及び独立生計者は、「1:自宅」
アパートや寮を借りて生活する者は、「2:自宅外」

今年度受給する奨学金(予約採用を含む)、昨年度に受給した奨学金に○をつけ、1~3の合計と、4の受給金額を記入する。
日本学生支援機構以外の奨学金については、名称も記入し、貸与か給付に○をつける。

【就学者】 ページ下段を参照のこと

兄弟等が岡山大学に在学の場合：
学部(研究科)及び学生番号を併記する。

父又は母が死亡・生別の場合：
死亡・生別の父又は母を「就学者を除く家族」欄に記入の上、この欄にも記入する。

障害者手帳や医師の証明により記入する。

長期療養者とは、診断書(様式10-①)により申請時現在治療中で6か月以上の療養期間を要すると認められる方です。
療養費年額は免除申請月からさかのぼって1年間の療養費を領収書等(様式10-②)により合計して記入する。

主たる家計支持者が単身赴任により別居のために特別に支出している住居費及び光熱・水道費の実費を免除申請月からさかのぼって1年間分を領収書により合計して記入する。なお、会社負担があるときは、その差額の合計となる。

授業料納期前1年以内に火災・風水害等により被害を受けたために将来支出が増大したり収入が減少して、長期にわたり著しく困窮状態におかれると認められる場合は、次により金額を記入する。

- 日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合：
最低限の衣料、家具の購入費、修理費等
- 生産手段(田、畑、店舗等)に被害を受けた場合：
長期にわたって収入減が予想される年間金額

*単に被害額や復旧費をそのまま記入するのではない。

【就学者】とは、
小学校・中学校(特別支援学校を含む)、高等学校(通信制・専攻科・別科を含む)、高等専門学校(専攻科を含む)、大学(大学院・別科・専攻科・通信教育部を含む)及び専修学校(高等課程・専門課程)に在学している方をいいます。
水産大学校、農業大学校、職業能力開発大学校、防衛大学校等、専修学校生(一般課程)、研究生、科目等履修生、補習科生、「各種学校」に分類されるもの(予備校・語学学校等)は就学者に該当しない。
ただし、専修学校(専門課程)の認可を受けている農業大学校は就学者に該当します。

※ 前半期分を申請する場合、3月卒業(見込)及び4月入学(見込)の兄弟姉妹等に注意すること。
※ 4月の状況が未定の場合は、見込みの状況を鉛筆書きにし、決定後速やかに届け出ること。